

第5回

2017年4月22日(土)・23日(日)

9:00~17:00 実施

マスターday 22日(土) 曇り：風 2 m/s

ノービスday 23日(日) 晴れ：風 5 m/s

- 会場：JEIS 横浜 棧橋
- 参加費：7,000円/名 (表彰パーティーフィー含)
- 参加資格：小型船舶操縦士免許所有者
- 参加者数：計 25名
- 使用艇：むさし6号、7号…ヤマハFR-23 (23ft・船外機150馬力)
むさし8号、9号…ヤマハFR-20 (20ft・船外機90馬力)
- 練習は、1隻1グループ+担当教員
- 審査は、1隻1名に教員2名が採点

イベントの主な内容・1日の流れは、「第1回」レポートに掲載しています。

「第1回」レポートは、TOPページバナーよりご覧ください

みなさまに大好評のお祭りイベントはおかげさまで5回目を迎え、節目となる今回は、離・着岸祭り参加経験者対象「マスターday」と初めて参加される方対象の「ノービスday」を設けて開催しました。

マスターdayは、風が強い時や着岸スペースが狭い時に使える「直角着岸(70°~90°)方法」を取り入れました。

マスターday [22日・結果]



2位	1位	3位
96点	98点	93点
松田様	安藤様	上原様

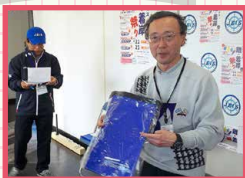
ノービスday [23日・結果]



2位	1位	3位
92点	96点	92点
土田様	根本様	西村様

※ 同点の場合は、カウントバック方式により決定。

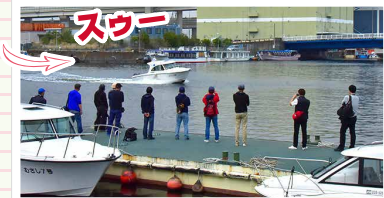
1~3位入賞の方には「金・銀・銅」メダルを授与、記念品 (JEIS オリジナルキャップ&ベルト、YAMAHA レーシングジャケット他) を贈呈。
4~6位の方に、敢闘賞を授与いたしました。



JEIS 講師による、着岸の妙技を披露！

デモンストレーション

「その場回頭（スタンディング・ターン）」、風を利用した「縦列着岸」など、JEIS 講師が上級テクニックを実演。狭いスペースでの着岸を華麗にキめます！



お祭り恒例となった「デモンストレーション」は、いつも大人気♪昼食と休憩もそこそこ、栈橋にギャラリーが集まります。みなさんに喜んでいただけるからこそ、教員の腕がひときわ鳴るというもの。今回も張り切って実演させていただきました！



練習風景 (本番前の自由練習)

コンテスト本番直前まで、時間いっぱい、不安な点を何度もチェックしながら、真剣に練習に取り組まれていました。



離着岸コンテストの様子

コンテスト形式で腕を競いながら
習熟度チェック！

離・着岸コンテスト

何度か参加したことのある経験者でも、本番はいつもドキドキ！
…しかし、このお祭りは企画が目白押しなので、
ドキドキは、コンテストのあともまだしばらく続くのです。



普段、一挙手一投足をじっと見られることは
そうそうないのに、審査では至近距離で、
しかも2人の教員にチェックされるので、
どうしても緊張が高まりますね。



自分のことではいっぱいでも、
仲間を見守り励ます姿、順番が来る寸前まで
ロープワークを教え合いながら練習する姿など、
審査中の桟橋の上は、協力し合うシーンが印象的です。



審査がすべて終わると、みなさんも教員も
ホッとした笑顔に戻りました。

スムーズな進行のために、バックヤードも全力でサポート。
採点されたらすぐに、タイムアタックさながらの全速力で
急カーブに注意しながら、集計担当の元へ！



ロープワークリレーの様子

★【お楽しみ企画】★ グループ対抗戦。みんなの力を結集して、チームワークで勝利をつかもう！

4× ロープワークリレー

コンテストに引き続き、ハラハラ・ドキドキ。しかしこれが盛り上がる！
ロープワークの実力、チームワークが試されます。

1 グループで「巻き結び2種（タテ・横）、もやい結び、クリート結び」
いずれか1人1種を担当します。2グループごと予選を行い、
それぞれ勝ち抜けた組で決勝戦、優勝チームを決定します。

POINT

どの結び方を
誰が担当するかは、
スタート直前まで
わからないので、

4つの結び方を
すべてマスターしておく
必要があります。

第4走者

クリート結び

もやい結び

第3走者

第1走者

巻き結び
(タテ)

巻き結び
(横)

第2走者



- 1 走者は、スタートラインにスタンバイ。
- 2 よーいドン!で、ロープワークポイントへ向かい、
結んで、戻って、次の人へバトンタッチ。
- 3 全員がゴールしたら、正しく結ばれているかを、
教員がチェック。
- 4 着順、スピードも大事ですが、
「正確に・確実に結べているか」が1番重要。

速かったチームでも、
結びが間違っていたら減点・不合格となり、
遅かったチームがパーフェクトなら、
遅いチームの勝ちとなります。



ロープワークリレー PHOTO GALLERY

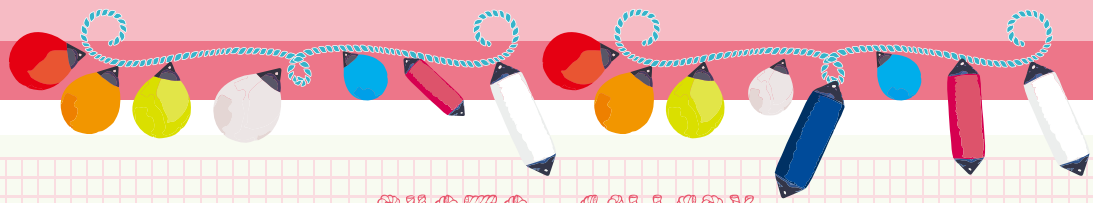


PHOTO GALLERY



参加者の声



参加者の声

Q: 今日の出来は？ (マスター day)

聞かないでござい笑

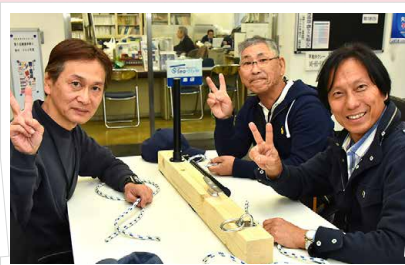
課題が少し変わり、波も穏やかすぎて、いつもよりうまく行かなかった

悪いコンディションの方が逆によくできたりするのかも？ 今日はやりやすいかなと思いましたが、ダメでしたねー

本番になると緊張しますね。緊張しなければ優勝なんだけどな…

何度か参加しててもどうしても緊張しちゃいます

課題が前回と変更されて、また新たなチャレンジだった



普段レンタルしても、着岸はスタッフさんにお任せしていて、自分で離・着岸するのは、この機会くらいなので、スキルアップのために、また次回も参加したい

ひとつまづくと、そのあとがどんどん悪循環に…考えていたことができないとパニックになりますね

全然ダメでしたあ～

練習の時から、あがっちゃいました

ああすればよかった、こうすればよかったとか、あとからあとから悔やんでばかりだったので、次回はもっと頑張りたいです

秋にリベンジしたい！



総評



教員からの総評



上手な人は本当にお上手です。ですが、非常にもったいない人のほうが多いですね。例えば、ハンドルを左に切って、うまい具合に船体を持っていったんだけど、最後の最後にハンドルを切るのを忘れて後進に入れてしまい、船尾が逸れてしまうとか…落ち着いてさえいたら、腕前は申し分なかったのですが、そういった少しのことで、結果が芳しくなかった方もいて、もったいなかったですよ。

そしてロープワークが不得手な方が多かった気がします。特に「もやい結び」が出来ていませんでした。普段、今まで全然やっていない結び・やり方になると、途端に焦ってしまっています。いつものやり方ではできない、となると、係留のタイプは目的地によって様々ですので、いろんな結び方をマスターして対応できるよう、頑張ってください。

マスター day は講習内容が前回と変わりましたが、みなさんのレベルは高かったと思います。風が穏やかでしたので、人によってはやりにくかった方もいたかもしれませんが、どんなコンディションでも離・着岸できるよう、これからも日常から練習を重ねていただきたいです。

みなさん、練習はうまく行っているんです。コンテストですから、どうしても慌ててしまったり、緊張したり、身構えてしまうのは仕方ないのです。

ですので、我々教員も、みなさんがどれほど本番で焦らないように、自分の実力を発揮できるか、講習の進め方に気を配って行かなければと思いましたが、教員の課題です。みなさんがリラックスして、このお祭りを楽しんでいただける環境づくりに努め、心がけていきます。



みなさま、離・着岸づくりの1日をお楽しみいただけただいしょうか。次回は、秋に開催予定です。たくさんのご参加をお待ちしております！